



元気なまちかど

(公社)びわこビクターズビューロー

全国大会へはばたけ

滋賀県を代表し、全国大会へ出場されるスポーツ少年団等の選手を激励するため、壮行会が開催されました。出場選手からは、「優勝めざしががんばります」「支えてくれた人に感謝し、全力でプレイします」と力強い決意が述べられ、西村教育長から「最後まで絶対に諦めないという気持ちでがんばってください」と各チームの代表者に、激励品が贈呈されました。



水口少年野球団



土山ソフトボール
スポーツ少年団



水口ジュニア
ソフトテニスクラブ



甲南剣道スポーツ少年団



水口剣道スポーツ少年団
剣徳会

※なお、大会は既に終了しており、出場された選手の皆さんは、日頃の成果を存分に発揮されました。

私だけのマイボトル作り

7月31日(日)に、甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」で、子供と大人のワークショップ「冷茶とマイボトルを作ろう」が開催されました。

参加者は絵の描かれた台紙に、思い思いに色を塗っていました。また、完成した塗り絵をボトルに挟んで、世界に一つだけのマイボトルができあがりました。



マイボトルの
絵に色を塗る
児童



塗り絵を
楽しむ親子

未来のまちづくりを考える



▲未来の甲賀市をイメージし、描かれた一枚の大きな絵

7月23日(土)、岩上総合運動公園で「未来に希望を託す当事者となれ」が実施されました。

これは、一人でも多くの方がまちづくりに関わるきっかけをつくり、地域コミュニティの場である公園に再び人が集うようにと公益社団法人水口青年会議所が企画・実施されたものです。

参加された方々は、遊具にペンキで色を塗ったり、未来の甲賀市をイメージした一枚の大きな絵を完成させ、公園は見違えるように綺麗になりました。



▲「みんなで力を合わせて色を塗ったよ!」

こうした取り組みを通して地域に愛着をもち、未来の甲賀市で活躍してくれる方が一人でも増えれば良いですね。

公立園への導入は全国初! ～木製ブロック「Zurenga※ズレンガ」で遊んだよ～

甲賀北保育園の遊戯室に運ばれた600ピースもの甲賀市産ヒノキでできた木製ブロック「Zurenga」。部屋中に広がるヒノキの香りを感じながら、園児たちはみなくち子ども森自然観察指導員の橋詰さんから、木を植えて切ってZurengaができるまでのお話に耳を傾けていました。その後、早速想像力を働かせ、



▲みんなで協力し、大きなトンネルが完成!

ロボットや自動車、みんなで協力して大きな家やトンネルを作りました。

このZurengaは市が2セット購入し、当園やあいみらい保育園をスタートに、市内すべての公立園を巡回します。



▲Zurengaができるまでのお話を熱心に聞く園児

※全面に10個の穴を開け連結ブロックを使うことで結合できる木製のおもちゃです。大きな構造物を作るには協力が必要で、子どもの仲間意識を高めるための教育ツールとしても活用されています。

「火」への感謝と安全を願って 5年ぶりのしがらき火まつり

天候不良やコロナ禍により中止となっていた「しがらき火まつり」が5年ぶりに開催され、多くの方で賑わいました。

新宮神社から採火された元火を松明に転火した後、参加者の皆さんは、信楽地域市民センターから愛宕山頂上にある愛宕神社までの約2kmの道のりを歩きました。約300本の松明が夜道に連なる光景は、非常に幻想的でした。

また、信楽地域市民センター駐車場では、紫香楽太鼓「炎」の皆さんによる演奏、終盤には、約1,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



▲松明を担ぎ愛宕神社までの参道を登る参加者



▲松明が奉納された愛宕神社

甲賀の食文化を未来へ 郷土料理レシピ集(下巻)を発刊

市内の特産品を使用したレシピ集「忍者の里 甲賀七彩物語郷土料理集(下巻)」が発刊されました。

多くのボランティアの方々に参加し、「NPO法人地域で創る土曜日夢の学習」によって編集・制作されました。

このレシピ集では、上巻では紹介されなかった料理レシピや、農作物の歴史、食材にまつわる暮らしの様子や知恵が書かれています。

甲賀の豊かな食文化が若い世代へつなぐと良いですね。



▲発刊されたレシピ集



▲編集に関わった皆さん